



ジャカラнда

Jacaranda

ナミビア・オマルル通信NO.14

2023.04.10

JICA海外協力隊

とよたももこ 豊田桃香

浜風小学校のみなさん、進級おめでとうございます。心機一転、新しいクラスでもがんばりましょう。今回は、先生の活動（算数の授業の一部）について、ご紹介します。

～算数カードを使って～

日本の高校生が、小学生が使わなくなった計算カードを集めて、寄付していただきました。（大阪からナミビアまで届きました。）今は3・4年生で使っています。

ナミビアの小学生は、日本のように教科書を1人1冊持っていません（先生だけ持っています）。計算ドリルや計算カードのような他の学習グッズも何にもありません。そういったこともあり、計算練習する量も少なく、高学年になっても「たしざん」が苦手な子がたくさんいます。



計算カードを1人1つ渡したところ、とても喜んでくれました。自分で何度も練習できるので、集中して取り組んでいました。これからも大切に使うしてほしいなと思います。

～マスのないノート～

子どもたちは、マスのないノートを使っています。売られているノートが、ほとんど線だけのタイプのノートだからです。

算数の授業で困ったことがありました。それは、筆算をする時です。マスがないので正しく書けず、答えを間違えることがたくさんあります。なので、マスノートのページを印刷し、使ってもらおうようにしています。

